

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室

[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [教育活動](#) | [労働組合の目的と働き](#) ③ [運動目標](#) (2)[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)

労働組合の目的と働き ③ 運動目標 (2)

＜目的達成に必要な運動目標＞ ②

◆賃金と労働時間の2本柱

「労働条件の維持・向上」

労働組合の目的や「やるべきこと」について討議するとき、必ず出てくるのがこの労働条件の改善です。なかでも賃金引き上げは、常に誰もが取り上げる問題です。労働者にとって賃金は唯一の生活の糧ですから、それは当然のことであって、賃金問題は今後とも組合員の一番の関心事でありつづけるでしょう。ただ、いうまでもなく賃金引き上げだけがあればいい、いうものではなく、たとえば長時間労働、時間外労働（残業や休日出勤）をすることだけで賃金が増えても、それは本当の賃金引き上げではありません。また名目賃金が上がっても物価が高騰したり税金が多くなると、実質賃金はさほど上がりませんし、可処分所得は下がることすらあるのです。ですから、労働条件は、賃金・労働時間・その他諸条件を総合的にとらえ、全体として向上させていかねばならないのです。また労働条件は向上だけでなく、それを維持することも労働組合の重要な責任であることを忘れてはなりません。不況のきなど賃金が切り下げられ、生活ダウンが軽々と行われてはならないのです。労働条件の主要なものを並べてみますと、

◇賃金一月例賃金、一時金、退職金（これらを総合して賃金の多寡が評価されますが、基本はやはり月例賃金です）

◇労働時間一日当たり労働時間、休日（1日の労働時間×1年の労働日数＝年間労働時間、で労働時間の長短が評価されます）

◇その他の諸条件一年次有給休暇、安全衛生などの職場環境、労災補償の付加給付、健康保険の付加給付、寮・住宅制度、その他法定外福利厚生など

③→

[🔍 キーワード検索はこちら](#)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's広場](#)[関連リンク](#)

